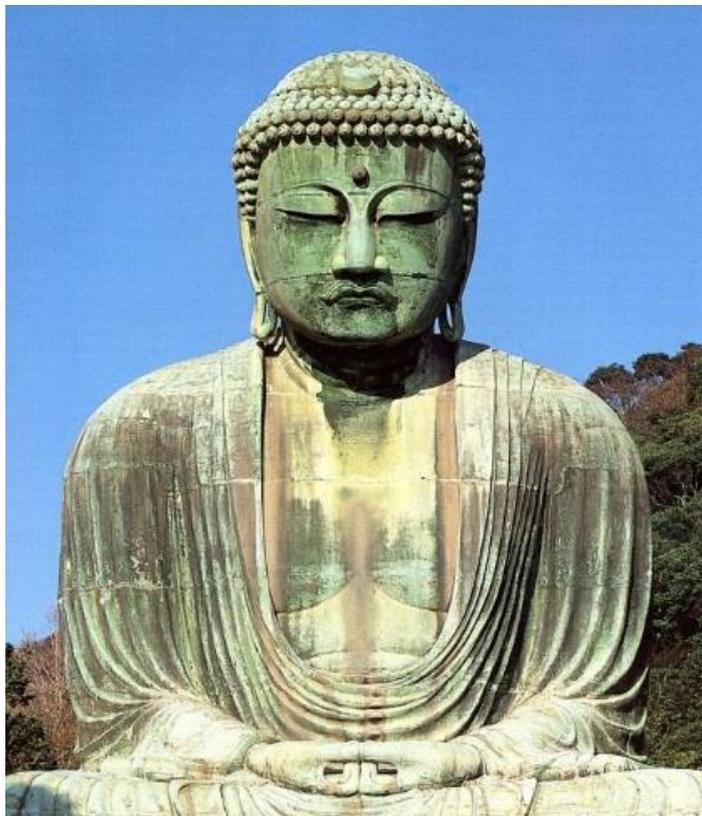


仏像の顔 一形と表情の意味するところー



誰しもが一度ならず、仏像を見た経験を持っています。そんなとき、仏像の前に立って、まず眼がいくのは顔でしょう。そして「何ともいい顔していらっしやる」というつぶやきをよく耳にします。仏像の顔には、形としての「顔」だけでなく、人の心に訴える何らかの意味があるはずです。「慈悲」と「怒り」の違い、仏像の種類や時代によって違う仏像の顔について、三井記念美術館館長の清水眞澄氏がお話します。これからの仏像鑑賞がより楽しめる講座です。

講師 清水 眞澄（しみず まずみ）

神奈川県生まれ。東北大学文学部史学科東洋芸術史科卒業。現在、三井記念美術館館長・成城大学名誉教授。著書に『中世彫刻史の研究』（有隣堂）、『鎌倉の仏像文化』（岩波書店）、『仏像』（平凡社）、『よくわかる仏像のすべて』（講談社）、岩波新書『仏像の顔一形と表情をよむ』（岩波書店）など。

開催概要

- 日時：2016年4月26日（水）14:30～16:00（14:00 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
 - ① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。